

# ぶぎか 議会だより

第83号 2013. 3. 28



私たちの卒業の年に新校舎が完成しました。

平成 25 年度当初予算可決 . . . . .	2～6頁
平成 24 年度補正予算 . . . . .	9頁
一般質問 (2人) . . . . .	10～11頁
出前議会が始まりました . . . . .	13頁
10 力年総合計画を議会と一緒に作りませんか? .	14頁
小値賀小中学校新校舎落成 . . . . .	15頁

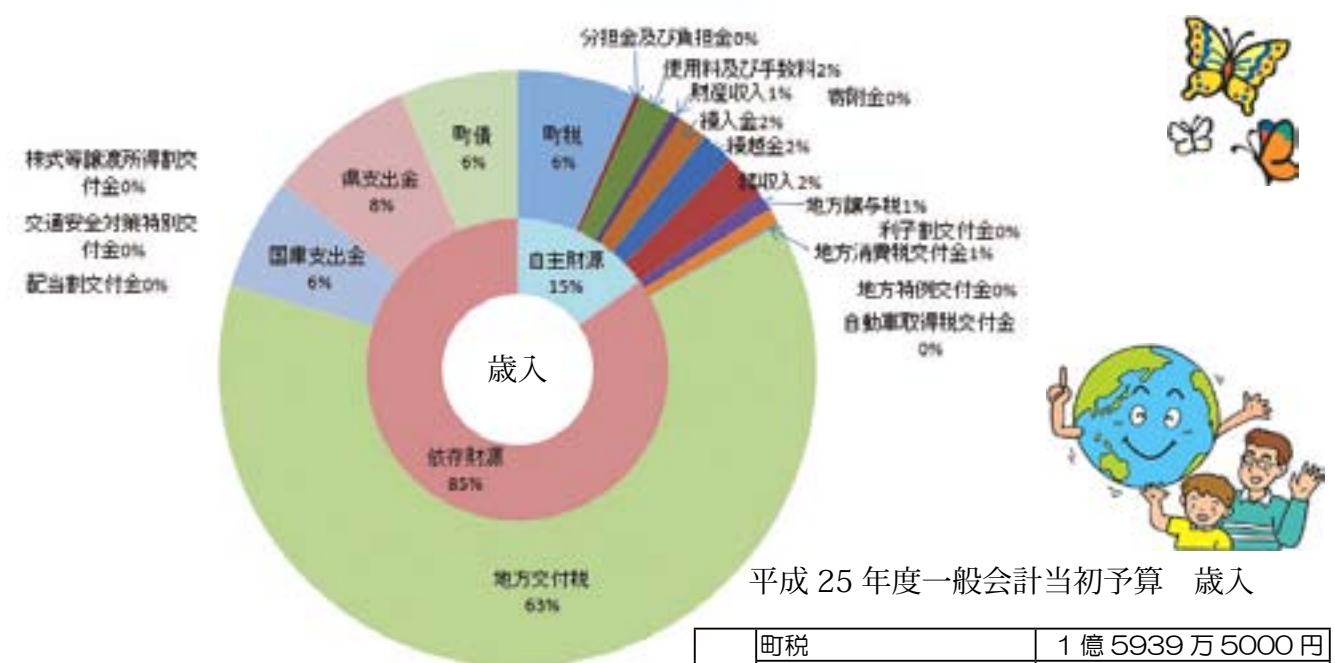
編集 小値賀町議会 広報常任委員会  
発行責任者 小値賀町議会議長  
電話 0959-56-3111



# 平成 25 年度の一般会計予算 24 億 7000 万円を修正可決！

3月定例会

町民一人当たり約 8 8 万円に！  
町民や保護者への十分な説明がなされていないとして給食施設設計業務委託料 924 万円を修正



自主財源	町税	1 億 5939 万 5000 円
	分担金及び負担金	781 万 5000 円
	使用料及び手数料	4590 万 5000 円
	財産収入	1424 万 9000 円
	寄附金	6000 円
	繰入金	3950 万 4000 円
	繰越金	4450 万円
	諸収入	6014 万円
	地方譲与税	2400 万円
	利子割交付金	30 万円
依存財産	地方消費税交付金	2100 万円
	自動車取得税交付金	300 万円
	地方特例交付金	10 万円
	地方交付税	15 億 4400 万円
	交通安全対策特別交付金	1000 円
	配当割交付金	15 万円
	株式等譲渡所得割交付金	5 万円
	国庫支出金	1 億 5014 万 9000 円
	県支出金	1 億 9713 万 6000 円
	町債	1 億 5860 万円
合 計		24 億 7000 万円

問 町税の徴収率の見込みは？

答 昨年の一般会計当初予算の合計は32億4500万円でしたので、平成25年度と比較して、7億7500万円の減額となりました。主な要因は、校舎建設が終わり、学校建設費の計上がなくなったことと国会審議の関係です。

問 歳入に関する主な質疑は次のとおりです。

問 町税の徴収率の見込みは？

答 セーフティーネット支援事業の国庫補助



3月5日から14日までの10日間の会期で平成25年第1回定例会が開かれました。主な議案は本年度の当初予算案で、予算特別委員会を設置して慎重に審議し、これを修正可決。その他、24年度補正予算5件、条例案18件、その他教育委員の選任の同意など合計35件の議案を審議しました。

町長は、施政方針で今後、観光振興に関する動きが加速する見通しであること、航路対策に取り組むことなどを表明しました。

本年の4月1日から県内の町では初めての福祉事務所を開設すること、畜産業の振興、イノシシ対策、世界遺産登録推進事業についての方針が示されました。

また、懸案の医師2名体制の確立が実現しそうであることなどが報告されました。

当初予算の審議 3月の定例会の中心は当初予算の審議です。本年度の予算案は、国会での補正予算の審議及び新年度の予算審議が大幅に遅れていることで、地方交付税や国庫支出金などの算定が難しかったこともあり、比較的抑制的な数字となったようです。

当初予算の審議は、予算特別委員会を設置して、委員会で十分な審議を行いました。

給食施設設計業務委託料を認めず 教育費の給食施設設計業務委託料について疑問が提示され、「小値賀小中学校において、給食を実施するかどうかで保護者の意見も二分されている段階であり、反対者や商店街などへの理解を得るための働きかけが不十分」とし、理解を得た上で、改めて計上すべきとして、予算特別委員会は一部修正し可決しました。

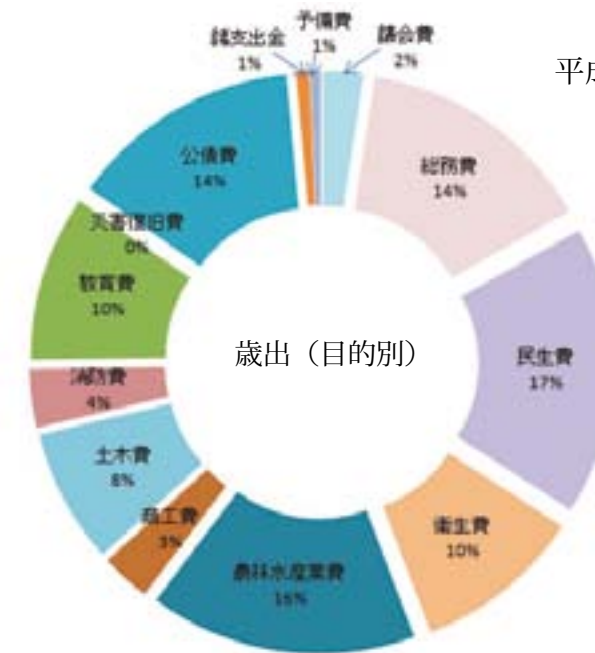
これを受けて本会議において委員長の報告のとおり、平成25年度一般会計予算を修正可決し、特別会計は全て原案のとおり可決しました。

金についての説明を 福祉事務所設置に関して体制整備にかかる事業の補助金。生活保護システム導入費や職員の研修に係る費用等を国が100%みるもの。

新設する福祉事務所の運営姿勢は？ 不正受給がないように十分に注意するとともに、県との連携及び民生委員との十分な情報交換を行う。就労関係については本人と協議しながら支援していく。



平成 25 年度一般会計当初予算 歳出（目的別）



議会費	5956 万 9000 円
総務費	3 億 5625 万 8000 円
民生費	4 億 2681 万円
衛生費	2 億 5005 万 1000 円
農林水産業費	3 億 9624 万 2000 円
商工費	7307 万円
土木費	1 億 9883 万 9000 円
消防費	8623 万 7000 円
教育費	2 億 4552 万 9000 円
災害復旧費	8000 円
公債費	3 億 4183 万 6000 円
諸支出金	2000 万円
予備費	1555 万 1000 円
合 計	24 億 7000 万円

## 農業者にも支援拡大（農業用燃油高騰対策）

### “藻場復活は我が町の生命線”

### 藻場再生に力を注ぐ



●農業用燃油高騰対策事業費補助金（112万円）  
水産業の燃油補助については数年前から実施しておりますが、燃油価格の高騰で農業従事者も厳しい状況に置かれていることから、農業用途で用される重油と軽油を対象に補助し、農業者の経営の安定を支援するものです。

#### ●藻場再生関連事業（315万5000円）

藻場の再生事業には昨年度以上に取組を強化し、藻場台帳作成事業、ガンガゼの駆除、アマモの増殖に向けた事業を展開します。

●県下初である「町」が設置する福祉事務所が4月1日開設！  
九州でもあまり例を見

## 本年度から本町に福祉事務所開設

## 福祉関連事業をより身近に



藻場再生調査特別委員会によるアマモ植え付け作業

ない「町」が設置する福祉事務所を県内で初めて本町に開設することになりました。  
住民課に併設するかたちで設置しますが、円滑な運用を期待するものです。なお、費用は特別交

## しま共通地域通貨4月1日から実施

### 尼忠東店を修復し活用

●5000円で6000円分の買い物が出来る！  
しま共通地域通貨実施事業に700万円

対馬市や五島市や小値賀町など県内の島の観光事業促進を目指して企画されたもので、1セット6000円分のしまとく通貨が5000円で換券できるものです。1人で3万円分まで換券出来ますから最高6000円の得となります。有効期限は換券から半年間です。この事業は観光客の増加や買い物意欲を刺激し島経済の活性化を図るというものです。

この「しまとく通貨」が使えるのは、あらかじめ登録されたお店や旅館、個人や事業所などになります。関心のある方は是非問い合わせを（総務課）。

務課）。

●尼忠東店復活事業に210万円

旧尼忠東店が町に寄贈され、改修保存することが決まりました。昭和初期の雰囲気を残しながら、町民が気軽に利活用できるような集いの場所にするなどが検討されています。

●その他、新たな事業のうち主なもの

①山羊ステーション整備事業に70万円

西目地区にある耕作放棄地を利用し、敷路木島などで捕獲した山羊の育成の為に中間ステーションを設け、約30頭を飼育して販売予定。



修復し活用予定の尼忠東店

⑤唐見崎浮棧橋機能保全工事に4000万円

④愛宕山園地トイレ整備事業に221万円（県の事業費の4分の1負担）

③新規イノシン発生地区生息環境調査事業に560万円

②離島流通効率化、コスト改善事業に350万円  
農作物の海上輸送コストの一部を補助します。

## 平成 25 年度各特別会計予算の合計は 16 億 5218 万 8000 円

### 国民健康保険事業特別会計

予算総額 4 億 6706 万円（前年度比 66 万円増）

《主な歳入》		《主な歳出》	
国庫支出金	1 億 1943 万 4000 円	保険給付費	2 億 8301 万 5000 円
前期高齢者交付金	1 億 1677 万 1000 円	共同事業拠出金	6582 万 2000 円
国民健康保険税	8752 万 7000 円	後期高齢者支援金	5797 万 1000 円

### 介護保険事業特別会計

予算総額 3 億 9800 万円（前年度比 2130 万円増）

《主な歳入》		《主な歳出》	
国庫支出金	1 億 1674 万 3000 円	保険給付費	3 億 7775 万円
支払基金交付金	1 億 1488 万 6000 円	地域支援事業費	1606 万 1000 円
保険料	4930 万 5000 円		



後期高齢者医療事業特別会計			
予算総額 4266 万 8000 円（前年度比 116 万 8000 円増）			
《主な歳入》		《主な歳出》	
繰入金	2128 万 6000 円	分担金及び負担金	4050 万 8000 円
後期高齢者医療保険料	1998 万 6000 円	総務費	213 万 8000 円

渡船事業特別会計			
予算総額 5940 万円（前年度比 100 万円増）			
《主な歳入》		《主な歳出》	
国庫支出金	2550 万 8000 円	渡船事業費	5725 万 3000 円
繰入金	2000 万円	公債費	178 万 1000 円
渡船事業収入	798 万 8000 円		
※離島運賃割引制度により、4 月 1 日以降、運賃が 200 円を超えた額について国、県の補助が出る ことになりました。現行では大人片道、六島 420 円、野崎 500 円、大島 270 円、納島 210 円ですが、 いずれも乗客負担額は 200 円となります。			

簡易水道事業特別会計			
予算総額 8580 万円（前年度比 210 万円減）			
《主な歳入》		《主な歳出》	
事業収入	5302 万 9000 円	公債費	4691 万 1000 円
繰入金	3177 万円	総務費	3848 万 9000 円

下水道事業特別会計			
予算総額 1 億 7123 万 4000 円（前年度比 506 万 6000 円減）			
《主な歳入》		《主な歳出》	
繰入金	1 億 4482 万 4000 円	公債費	1 億 3706 万 8000 円
事業収入	2441 万円	総務費	3385 万 3000 円

国民健康保険診療所特別会計			
予算総額 4 億 2800 万円（前年度比 3070 万円減）			
《主な歳入》		《主な歳出》	
診療収入	3 億 1274 万 5000 円	医業費	2 億 2510 万 5000 円
繰入金	7600 万円	総務費	1 億 9502 万 3000 円
町債	1590 万円	公債費	638 万 4000 円

## 条例・同意

### 新たに制定した条例

### 今回の定例会には18の条例案と

### 教育委員の任命の同意案件など3件が提出され、

### いずれも原案とおり可決しました。

#### ●小値賀町新型インフルエンザ等対策本部条例

平成24年5月に制定された「新型インフルエンザ等対策特別措置法」が制定されたことにより、本町でも対策本部の設置が義務化されました。この事により、新型インフルエンザ等が発生した場合、町長を本部長とする対策本部が設置されます。

#### ●小値賀町屋外広告物条例

平成22年より景観条例を制定しましたが、屋外の広告物は景観を構成する大きな要素であることから、長崎県の「屋外計画区域」に基づく権限委譲か、もしくは町独自での条例の制定による選択をする必要があり、長崎県の屋外広告物条例では、本町の実情と規模から内容がそぐわないことから、町独自の条例を定めました。

#### ●小値賀町準用河川に設ける河川管理施設等の構造の技術的基準に関する条例

準用河川における工作物の構造について技術基準が設定されました。本町における準用河川は、笛吹郷の「笛吹川」浜津郷の「八龍川」及び前方郷の「筒井川」のみです。



屋外広告物の一例

#### ●小値賀町しま共通地域通貨換金準備基金条例

プレミアム付地域通貨事業が実施のための基金新設。

#### ●小値賀町指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に係る入所定員等に関する条例

もともと省令で定めていた基準を今回条例化。

#### ●小値賀町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例

もともと省令で定めていた基準を今回条例化。

#### ●小値賀町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例

もともと省令で定めていた基準を今回条例化。

#### ●小値賀町町道の構造の技術的基準に関する条例

全国一律から地域の状況に応じて条例を定める。

#### ●小値賀町における高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な町道の構造の基準に関する条例

実情にあった基準を設ける事に。

#### ●小値賀町町道に設ける道路標識の寸法に関する条例

「案内標識」「警戒標識」「補助標識」の寸法規定。

#### ●小値賀町町営住宅及び共同施設の整備基準に関する条例

実情にあった公営住宅の整備のための条例制定。

## 改正された条例

□小値賀町有雌牛貸付事業に関する条例の一部改正  
町内の有畜農家の普及及び和牛の改良と増頭を推進するため、優良牛の導入にあたり、町有雌牛の貸付制度を緩和し、一農家当たり5頭以内の貸付枠を10頭以内に拡大するものです。

□小値賀町葬斎場設置及び管理条例の一部改正  
独居高齢者及び施設入所者等の死亡した際、自宅が使用できない状況があったのが、斎場のお通夜使用に係る条例を追加することにより使用可能になりました。使用料は一夜3万円です。

□小値賀町道路占用料徴収条例の一部改正  
許可対象物に太陽光発電や津波避難施設を追加

□職員の給与に関する条例の一部改正  
55歳以上の職員給与水準を引下げるもの。

□職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正  
毎月定額支給から従事日数支給にするもの。

□小値賀町各種委員等報酬及び費用弁償の一部改正  
各臨時職員の契約方法に基準を設けました。

□小値賀町立小中学校設置条例の一部改正  
新校舎建設により中学校の住所を変更するもの。

## その他

◆小値賀町漁民研修センターの指定管理者の指定について  
現在宇久小値賀漁協に委託管理している「小値賀町漁民研修センター」の管理を、宇久小値賀漁協に指定管理者として指定するものです。

◆長崎県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について



新しい小中学校校舎内の自由な空間

## 平成 24 年度一般会計補正予算（第 6 号）

歳入歳出それぞれ 190 万円を追加し、予算総額を 33 億 2381 万円に！

### 《主な歳入補正》

財産収入	1191 万 6000 円	減額
町債	820 万円	
国庫支出金	521 万 5000 円	
使用料及び手数料	384 万円	

### 《主な歳出補正》

総務費	2640 万 9000 円	
農林水産業費	1215 万 8000 円	減額
民生費	968 万 2000 円	
衛生費	895 万 5000 円	減額
商工費	496 万 1000 円	減額
消防費	421 万 6000 円	減額
災害復旧費	191 万 5000 円	減額

## 平成 24 年度特別会計補正予算

### 国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）

歳入歳出それぞれ 2510 万円を追加し、予算総額をそれぞれ 4 億 9700 万円に！

#### 《主な歳入補正》

国庫支出金	2118 万 7000 円	
県支出金	616 万 2000 円	減額
共同事業交付金	524 万 6000 円	

#### 《主な歳出補正》

保険給付費	1947 万 4000 円	
共同事業拠出金	408 万 6000 円	減額

### 介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）

歳入歳出それぞれ 243 万円を減額し、予算総額をそれぞれ 3 億 8549 万 5000 円に！

#### 《主な歳入補正》

繰入金	223 万 9000 円	
支払基金交付金	191 万 1000 円	減額
県支出金	173 万 9000 円	減額

#### 《主な歳出補正》

保険給付費	239 万 8000 円	減額
地域支援事業費	23 万円	減額

### 渡船事業特別会計補正予算（第 3 号）

歳入歳出それぞれ 133 万 8000 円を減額し、予算総額をそれぞれ 5920 万 6000 円に！

#### 《主な歳入補正》

繰入金	81 万円	減額
渡船事業収入	46 万 8000 円	減額

#### 《主な歳出補正》

渡船事業費	133 万 8000 円	減額
-------	--------------	----

### 国民健康保険診療所特別会計補正予算（第 2 号）

歳入歳出それぞれ 2367 万 6000 円を減額し、予算総額をそれぞれ 4 億 3992 万円に！

#### 《主な歳入補正》

診療収入	1900 万円	減額
繰入金	717 万 6000 円	

#### 《主な歳出補正》

医業費	2180 万 4000 円	減額
総務費	187 万 2000 円	減額

## 小値賀町教育委員任命の同意



小金丸梅夫氏

持ちであり、教育にも熱心な方です。任期は 4 年です。ご活躍を期待いたします。

教育委員が昨年 10 月から 1 名欠員になっていましたが、この度、小金丸梅夫さんを任命することに議会は同意しました。  
小金丸さんは東京農業大学卒業後、国際協力機構（JICA）に入り、アメリカ、ペルーなど、多くの海外での経験をお持ちです。





# これを提案！ いっばんしつもん ここが聞きたい！

平成 25 年第 1 回定例会において 2 人の議員が登壇し、体験型観光を活かした小値賀の活性化策についてと今話題になっている P M 2.5 への本町の具体的対策などについて、町長に質しました。

## 相次いでの大賞受賞を さらなる活性化につなげるべき



松屋治郎議員

### 担い手公社を中心に

### 取り組む (西町長)



この度、豊かなむらづくり大賞農林大臣賞及び地域づくり総務大臣表彰を相次いで受賞した。町と町民が手を携えて合っている結果であり、交流人口の増加と観光収入の増加は町の活性化に繋がると思う。

今後は、特産品・土産



品等、開発・製造販売に積極的に取り組み、観光による収入の増加を図る必要があると考える。観光産業と農漁業との融合による活性化の方策について町長の考えを伺う。

### 【答】西町長

現在の民泊の実情は自然体験に重きをおいたもので、本格的な農漁業体験の形にはなっていない。

厳しい農漁業経営の中で、生活の安定と生きがいにつながる可能性はあると考えられるので、今後関係団体との話し合いや情報交換の場を設けていき

たいと思います。

現在、土産品開発や観光推進のため、地域の農作物を活用した商品開発や、六次産業化に向けて販路拡大 P R 事業を進めながら一方で、観光事業に従事できる観光ガイドの育成などを実施しています。

今後、各種の団体との連絡調整や法律等の規制緩和や要求や人材育成などを推進してまいります。

また、インフラ整備としては公衆トイレの水洗化や改修、景観においては枯れ松の伐採の予算措置、更に船便の改善に務めていきます。

## しま通貨事業を活かす取り組みは？

関係者と話し合いを持って・・・  
(西町長)



### 【問】松屋議員

県内の離島の市町が、島の消費促進を目的に共通のしま通貨を発行する事業が 4 月から始まる。

観光ルートや特産品・土産品等の商品開発など通貨事業を活かす為の取り組みについて伺う。

また、2013 年のゆるキャラグランプリにおいて県内一位になった「ちかまる君」の積極的な活用方法について、町長の考えを伺う。

### 【答】西町長

しまとく通貨の事業については、商店街や飲食店・宿泊業者やアイランドツーリズム協会等と話し合いを持ちながら活性化に活かしてまいります。

ちかまる君の活用については小値賀町を宣伝するのに効果的であり、25 年度に作り変えるよう予算措置をしています。

今後も、小値賀町の P R のために活用していきたいと思います。

## 中国から飛来する P M 2.5 に対する 具体的取り組みとしてモニタリングポスト設置を！



近藤育雄議員

中国からの汚染物質、P M 2.5 ですが、今後懸念される健康被害について町はどのような対策を考えているのか伺う。

今後も汚染物質の飛来が予想される。飛来を感じずるセンサー等を町内に設置する考えはないか伺う。

また、県等からの情報があるのであれば防災無線などで町民に知らせる方法についての計画はないのか伺う。

【答】西町長  
独自の具体的な対策は、現在までのところありません。

## 県と調整しながら検討

### (西町長)



長崎県では、平成 24 年 4 月より、諫早局、壱岐局、佐世保福石局、佐世保大塔局の 4 か所で観測をおこなっています。報道では、最近長崎市が独自で観測器を設置したそうです。

また国から具体的な対

応の方法などについては示されておりませんが、3 月 8 日に県内の全市町に向けての連絡会議が開催され、大量発生した場合の対応の方向性が示されることになると思います。

観測局からのデータを基に、県からの注意報、警報等の発令により外出を控えたり、外出時のマスクの着用などを町の防災無線で呼びかける事になると思います。

## 枯れ松伐採処理の現状は？

今後とも継続して  
伐採処理していく (西町長)



### 【答】西町長

被害木の伐採処理を 24 年度において、町単独事業として一般財源 217 万円を投入し、6 月までに 347 本の処理を完了しています。

ながさき森林環境税を活用しての「ふるさとの森林再生事業」で同様の処理に努めています。

現在約 300 本の処理が完了し、今後の見込みとして約 250 本程度の枯れ松被害木の処理を予定しております。

25 年度においても、保全森林緊急保護整備事業等において、24 年度同規模の予算措置しています。

また、24 年度に処理できなかった積み残しについても、この事業で取り組む計画です。

今後とも観察を続け、処理計画を立ててまいります。

【問】近藤議員  
年度末を迎えるこの時期に枯れ松の伐採処理が進んでいない場所が見うけられる。  
現在の作業状況及び今後の計画を伺う。



前期の委員会の任期が迫りました。  
各委員長にこの二年間の取り組みを振り返ってもらいます。

総務文教厚生常任委員会委員長 宮崎良保

当初は西目焼却炉の延命方策としての生ゴミ問題に着手しダンボール・コンポストの活用により生ゴミを出さないよう調査研究をしてきましたが途中から所管が産業建設常任委員会に移行しました。

次に自然環境保護の問題に取り組みました。

野崎島東側が鹿の害害により荒廃しており、植物の生息が厳しい状況であることが判明。多方面において調査研究を継続



表土がむきだしになっている  
野崎島東側

しており、現在、自然再生事業について対策を研究中です。

また、旧小値賀中学校校舎の利活用について幅広く検討しましたがグラウンドが生徒の体育授業に使用するため、自ずと利用に制限があることなどで断念しました。

その他いくつかの課題に取り組みましたが、委

産業建設常任委員会委員長 土加重佳

本委員会の2年間の取組は、第一次産業の振興を中心に第六次産業化を視野においた調査研究でした。

加工処理・施設・冷凍冷蔵施設などを調査しましたが、加工品を作るまでには至っていません。小値賀町にはお土産が少ないと言う観点から落花生生産に関して担い手

員会の任期が2カ年である事から具体的な形までには至りませんでした。本年5月に新たに編成される委員会へ、事務の引継ぎを行なうて調査の継続をして頂きたいと思っています。

この2カ年小値賀の課題に対しての調査研究と一緒に活動して頂いた委員に感謝します。

公社の取組みを調査しましたが、品質・味などにも、まだ問題があります。今後の取組として作付面積の拡大、品質の向上に注視していかねばならないと思います。

イノシシ駆除については、平成24年12月に実施しましたが、一頭の駆除にも至っていません。次の新編成の委員会の

皆さんには、今までの積み重ねを、今後に活かしていただくことを願っています。

広報常任委員会委員長 伊藤忠久

開かれた議会を目指すための重要な役割の一つを担っているのがこの議会だよりです。

目標を「伝える広報」から「伝わる広報」へと

し、住民の皆さんに、少しでも分かりやすく、一刻でも早く手にとって頂くことを心がけて紙面作りに励みました。

審議された予算の特徴や主な質疑、一般質問など、各定例会、臨時会、委員会の内容や議会の考え方などを、出来るだけ読みやすくお伝えするためにこれまで編集作業を行なうて参りました。

議員だけで総ての編集作業をしておりますので、



伊藤忠久

力不足で、出来映えにご不満もあるかもしれませ

議会運営委員会委員長 小辻隆治郎

議会運営委員会の仕事は、定例会の会期決定や議事の進め方など本会議に関することと会議規則にすることが主なものです。

会議の進め方については、従来のやり方を少しずつ実情にあつた形で変更しています。

本会議での発言については、一括質問形式から1問1答方式へ変更しました。

また、随時、審議段階で、議案によつては、自

んがこの2年間、精一杯取り組んで参りました。今のメンバーでの編集は今回で最後になります。が、新しい広報委員にも頑張つて頂きたいと思っています。

議会だよりを愛読して頂いた住民の皆様へ感謝申し上げます。

由討議を行い、議員間の意見の交換ができるようにしております。

夜間議会は6月、9月の年2回実施することになりました。

自治法の改正もあり、委員会においても、公述人、参考人として民間から意見聴取することが出来るよう委員会条例を変更したところです。

この2年間を振り返りましたが、さらなる議会活性化を望むものです。

今年も出前議会を実施

## 小値賀の課題は？ 夢のある未来とは？

3月16日から3月23日まで各地区へ



唐見崎地区の出前議会

本格的な地方分権が進められているこの時期、町民を代表する立場にある町議会は、課題を抽出し、町全体としての意思や考えを集約するという役割を十分に果たすことが求められています。

議員個人として町民の皆さんの意見を伺うことは日頃からあるのですが、議会全体としての取り組み、即ち住民参加型の議会のあり方については、未だ具体的な形にはなっていない。

今後は、議会という組織として住民の皆さんとの関わりをより多くつくっていくこと、そして開かれた議会、住民参加の議会にしていくための取り組みを小値賀町議会は実施していきたいと考えています。

その一貫として前年と同様に議会の報告会と意見交換を兼ねて「出前議会」を開催することにいたしました。

先日、本年の第1回定例会が開催され、平成25年度の当初予算が示されました。当初予算は本年度の町政の青写真でもあります。

出前議会では、今年はどういうなことを計画しているのか、問題点はないのかなどを問い質した議会での審議内容と共に予算の概要と昨年度の議会の取り組みについて報告しました。

本年は、議員を3班に分け、3月16日から3月23日まで手分けして回り



笛吹地区の出前議会

各地区では忙しいさなか、また、夜間開催なのでご不便の中を多くの方がご参集頂き、議会の報告に耳を傾けていただきました。

こころよりお礼申し上げます。

議会に対する注文や、将来の小値賀のための活性化策について熱心な意見交換を行うことができました。今後今回のまとめを行い、町政に活かしていきたいと思っています。

これからも、年1回はこうした議会報告会を開いていきたいと考えております。

皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 平成25年第1回臨時議会

工事請負契約の変更について

※小値賀小中学校校舎建設工事の請負契約金額「8億2247万8650円」を「8億3119万9950円」に改める。

平成24年度一般会計補正予算（第5号）

5180万円を減額し、予算総額を33億2191万円に！

《歳入補正》		《歳出補正》	
国庫支出金	9020万8000円	農林水産業費	300万円
繰入金	1億2929万2000円	教育費	5151万5000円減額
町債	2億7130万円減額	予備費	328万5000円減額

議案は次の2つでいずれも原案可決しました。

補正予算案の中には、昨年12月の定例会で、公益性の基準や補助金要綱の不備などの理由で減額修正されていた「漁協の雨漏り修理補助金」が同額（300万円）計上されました。今回は、補助金要綱の整備などが出来たことと、厳しい漁業の現実を勘案して、補正予算案を原案可決しました。



# 私たちのまちの10カ年総合計画づくりに議会と一緒に



## ボランティア委員を募集

## 挑戦してみませんか？

執行機関とは違った角度から総合計画を一緒に作り、比較検討してより良い10カ年計画にしたいと思えます。関心のある方は是非議会事務局へ連絡してください！

皆さんのところに町づくりについてのアンケートが回ってきたと思いますが、執行部では、それらを参考にして具体的な10カ年総合計画を策定しようとしています。機関競争主義の観点から、議会でも独自に総合計画を作ってみようと思えます。

議会では現在、人口3500人を目標に小値賀の活性化策を検討するために、政策研究会を実施しているところです。この研究会の協議をもとに議会独自の総合計画づくりに取り組むことにしました。

合議体としての議会の特徴を活かして、住民の皆さんと一緒に10年後の小値賀像を構想してみたいと思います。自分たちの地域の将来

り組み  
十、世界に小値賀ネットワークをつくる

### 班割と人数

これらのテーマを議員三人ずつの3グループに分けて研究を進めたいと思います。

一班は、四、七、八のテーマを担当  
二班は、一、二、三のテーマを担当  
三班は、五、六、九、十のテーマを担当  
各班、ボランティア委員に五〜七人参加して頂きたいと考えております。

執行機関からの総合計画と議会からの総合計画案が競う形になります。最終的には、それぞれの良い点を活かし、よりよい計画づくりにつながるものと確信します。ご参加をお願い申し上げます。

### 募集

議員と一緒に最初の段階から総合計画づくりにボランティア委員として参加して頂けませんか？期間は、本年四月から十月までを予定しております。

賛同して頂く方や詳しく話を聞きたい方は、議会事務局へご連絡ください。また、直接議員へ問い合わせ頂いても結構です。なにとぞよろしく願います。

### 政策のテーマ

これまでの政策研究会の議論の中で、次の10のテーマをまとめました。  
一、第一次産業の振興  
二、今までの産業や経済構造を変える

三、魅力ある職場への変換と創造  
四、輸送手段の問題点と島である弱みを克服するシステムづくり  
五、子育てしやすい環境づくり  
六、U・Iターン者の若者

七、島独自の生活環境の改善（医療・福祉）  
八、高齢者の住宅環境を整える（高齢者対策）  
九、ゴミゼロ・自前エネルギーを目指した取



小値賀の未来の一端を担う気概を見せる財団法人「担い手公社」の面々

### 小値賀小中学校合同校舎落成！

### 内装は木材を多く取り入れた平屋づくり 庭（表現の広場）を真ん中に四方に教室を配置



新しい校舎の校門前で中学校卒業生と保護者の記念撮影

3月4日、完成が待たれていた小値賀小中学校合同校舎の落成式が行われました。小中高一貫教育が提案されて以来、学校の先生方の移動が容易

になされるよう校舎に關して執行部と共に議会でも協議が進められていました。今から10年ほど前になるでしょうか。当初は、高校の校舎に接続させて小中学校校舎を新築させる案が上がっていました。町と県という学校管轄の問題やグラウンドなどの問題により、具体化には至りませ

ませんでした。その後の学校耐震化の検討の中で、現在の場所に小中学校合同校舎を建て替える方針が決まり、具体的な作業に入ったのが、4〜5年前でした。議会でも、この間、全国の先進的な校舎づくりを研究する中で、よりよい学校づくりに対して具体的なイメージを共有することに務めました。

お仕着せのように単に設計会社の提案するものの中から選択して決めるのではなく、将来を見越した上での小値賀の特長を活かした校舎づくりになるよう当時の町長ともよく意見交換を行いました。

最初は、木の香りが充滿する平屋の総木造づくりにしようとする面への働きかけをしていたのですが、材料の調達、シロアリ対策の問題などがあり、最終的には、鉄筋コンクリート一部木造づくりとなりました。

完成した校舎は、建築面積約1121坪で内装は木材を多く使い、木の香りを漂わせています。北側の部分が中学校、南側の部分が小学校の教室となっています。

中学3年生には、1月からの3学期間だけでも授業を受けて頂きたいと思っておりましたが、工期が大幅に遅れて、数日しか教室に入れなかったことは誠に残念でした。議会としてはこのことにも十分な配慮を求めているところでしたが、実現出来なかったことは申し訳なかったと思っています。

せめて卒業式の時に新校舎をバックに記念写真をとを考えて、卒業生にはご協力をいただいて撮影させて頂きました。表紙とこのページに掲載させて頂きます。少しでも思い出に残りますように！



# 議会の「取扱説明書」 3

《議会のしごと》

《議員の・オ・シ・ゴ・ト》

法律に定められている

議員の仕事や権能とは？

- ① 予算を制定すること。
- ② 決算を認定すること。
- ③ 条例を制定し、改廃すること。
- ④ 条例を審議し、議決すること。
- ⑤ 検閲検査をすること。
- ⑥ 監査を請求すること。
- ⑦ 意見書を提出すること。
- ⑧ 調査権を行使すること。
- ⑨ 同意・承認すること。
- ⑩ 諮問に答えること。
- ⑪ 請願及び陳情書を受理すること。

・・・など。

## 議員の仕事

議員の仕事を進めるために、議員は常日頃からどのようなオシゴトをしているのでしょうか。

## 「政策提言」

条例の提案など議員の立場から行政を改善したり、一般質問などで政策

提言を具体的に行います。そのために、常日頃から先進地自治体議会の動向や行政の政策など情報収集に努めています。

また、各種研修会やシンポジウムなどに参加して、課題解決の仕方や新しい制度などを学んでいます。

独自の研究会や勉強会を開きながら具体的な政策を作るために努力をしています。

## 「町民の意思の反映に努める」

議会では提案された議案を審議するところです。

どのような議案が出てきても町民の目線であらゆる角度からの意見を反映させられるよう、より良い判断が出来るよう日常的なオシゴトが必要です。



夜間に勉強会・新離島振興法に基づく基本方針研究

一部の組織団体や地域の代表ではありません。町民全体の代表として、議員活動を行うのです。

議員は町民の代表なので、町民に対して自身の活動を報告し、議案への賛否や議決に至るプロセスなどを説明しなければなりません。町民の意見を聞きながら、町内の問題点がどこにあるかを考えていく姿勢が求められます。

町民の評価だけでなく、議員自身の目標設定

や評価の公表も重要です。

法律などの議員活動に必要な幅広い知識と、それらを組み合わせる力を養うことも必要です。

議員は、会議に出席した時だけ、仕事をしているのではなく、こうした議員活動という見えないオシゴトを通して、町民の意思を町政に反映し、町民の負託に応える努力をしているのです。（ホンナコツかな〜？。ホンナコツたな〜）

## 編集後記

春の訪れと共に卒業式のシーズンがやって来ましたが、卒業生の数も毎年のように少なくなっています。

また、出生児の数も少数です。

4月には25名の高校の卒業生が就職・専門学校・大学へと夢を膨らませ果立って行きます。

平成25年4月からは新校舎で始まる町立小中学校の入学式が楽しみです。

「一年生の子どもたちは校舎の空間の広さにびっくりして迷子になるのでは？」という事を想像しながら私は最後の編集を行なっています。

この2年間議会だより編集に携わってきて、言葉、わずかな文章でもおろそかに出来ないことを学びました。何度も吟味し書き直しをする作業の中で、より深く本質を知ることが出来ました。

ありがとう。感謝！

土川重佳